

令和3年2月号

さいたま支部通信



〒330-0853 埼玉県さいたま市大宮区錦町682番地2 JACK大宮
さいたま市宇宙劇場内事務局（齊藤・小田・佐々木・椎原）

TEL:048-647-0011 FAX:048-647-0066
<http://www.ucyugekijo.jp/>

【2月の活動予定】

活動日	場所・時刻	活動内容等
2月 13日 (土) 20日 (土)	集 合 宇宙劇場5階 第1、第2集会室	○プログラミング「ブロックでマシンを改造して遊ぼう」 オルフェス <日程> 2月13日(土) 第1回 9:30~11:30 定員 10人 2月13日(土) 第2回 13:30~15:30 定員 10人 2月20日(土) 第3回 13:30~15:30 定員 10人 ・内容:プログラミング用ブロック「Aptitor」を使ってマシンを作り、様々な用途に改造して遊んで、プログラミング的思考の基礎を体験します。 ・参加対象 小1~小4(低・中学年) <申し込み方法> 電話かラインで申し込み ・申し込み内容 : 名前、学年、保護者名、希望講座(講座の偏りは調整します。) ・申し込み期間 2月8日(月)12:00~2月10日(木)18:00までに。

※現在、新型コロナウイルスの感染拡大で、宇宙劇場が臨時休館になっております。(2月7日まで)今後の感染状況によっては、YACの活動が中止になる場合がありますので、HPやラインのお知らせを必ずご覧ください。

○「ペットボトルで掃除機を作ろう！」

今回の工作は、ペットボトルを使って簡単な掃除機を作る予定でしたが、残念ながら中止になりました。(29名の参加希望者)参加希望者には、全員に工作キットを郵送しました。後日、掃除機を作った団員から感想が寄せられましたので紹介します。

「お兄ちゃんと掃除機を作ったけど、モーターを両面テープで固定するのが少し難しかったです。吸い込む力が弱いのでペットボトルの先を画用紙で丸めたら力が強くなりました。早くみんなと一緒に工作をやりたいな。」(小2男子)



「家でお母さんと一緒に作りました。ペットボトルを切るのが大変でした。羽を反対につけたのでゴミを吹き飛ばしてしまいました。お母さんがこれでもいいんじゃない、公園で落ち葉を吹き飛ばして集めていたよ。と言ってくれました。私は、いろんな使い方があるなと思いました。」(小2女子)

今回は、活動ができなくてとても残念でした。教材を郵送する関係で大きさや重さの制限が

ありました。
今後の課題にしていきたいと思います。
今後の感染状況しだいでは、YACさいたま支部で作った動画をユーチューブにのせて公開したり、オンライン活動を考えていきたいと思います。よろしく願います。

☆「太陽系内天体大集合！！」

昨年末は木星と土星が約400年ぶりに大接近すると話題になりました。土星の輪と木星の縞模様を同時に見ることができるとても貴重な機会でした。



2/11には、その木星と土星に「水星、金星、月、太陽」が仲間入りします。これは見逃せない！と思いきや、太陽が仲間入りということは・・・残念ながら太陽に近すぎて見ることはできないのです。

この時期、惑星たちも夜に“密”に集まることは、避けているようですね。昼間の青空向こうでこそこそ集まっている惑星たちの姿を想像して、昼間の宇宙も楽しんでみてください。



ちなみに、惑星たちはほぼ一直線に並んでいて同じ方向に見えるというだけで、実際に集まっているわけではありません。昼間でも密に集まってははいけませんよ。

(事務局 小田)

☆2月の星空カレンダー

- 2日 節分？
- 3日 立春
- 5日 下弦
- 12日 新月
- 20日 上弦
- 27日 満月

※今年の節分は、例年よりも1日早い2月2日です。

(2月2日の節分は、124年ぶりだそうです。)

なぜそんなことが起こるのでしょうか。団員のみなさんその理由を調べてみてください。

○2月のできごと

- ・1970.2.11 日本初の人工衛星「おおすみ」打ちあげ

☆若田さんからサプライズエールを

いただいて



こんにちは、辻紅那です。今回はテレビ出演させて頂き、また取材に協力して下さいありがとうございます。

す。

私は、「～想いを届ける～クリスマスサプライズ！2020」というテレビ番組に宇宙飛行士を目指す高校生として出演し、オンラインで若田光一宇宙飛行士とお話をさせて頂きました。若田さんのお話の中で最も心に残ったのは「失敗を乗り越えようと努力している時が一番成長している」という言葉です。私はこれまで結果ばかりを気にし、肝心の過程を疎かにしていました。ですが若田さんから、試行錯誤する過程が大切であり失敗は教訓である、と教わりました。今後は失敗を乗り越える過程を大切にして、様々な課題に取り組んでいこうと思います。

(日本宇宙少年団さいたま支部団員 辻 紅那)